

東北新幹線上野～大宮間はやぶさ・こまち21号が走行中に連結部が外れ停車した事象について

3月6日（木）11時30分頃に東北新幹線はやぶさ・こまち21号が上野～大宮間を走行中、はやぶさ号とこまち号の連結部が外れ、車両が分離して停車しました。車両点検などを行った後、14時34分に全線にて運転を再開しました。

多くのお客さまに、ご迷惑とご心配をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。
本事象について、これまでに判明した状況、今後の対応について報告いたします。

1. 概況

3月6日（木）11時30分頃、東北新幹線はやぶさ・こまち21号（はやぶさ21号 東京発・新青森行 H5系10両、こまち21号 東京発・秋田行E6系7両 併結編成）は上野～大宮間を走行中、はやぶさ号とこまち号の連結部（10号車と11号車の間）が外れ自動的にブレーキが動作し停車しました。

その後、車両点検を行い、はやぶさ21号とこまち21号はそれぞれ単独編成にて大宮駅まで運転し、ご乗車のお客さまには大宮駅にて後続列車へお乗り換えいただきました。

また、14時34分に全線にて運転を再開しました。

なお、本事象による列車の脱線はありませんでした。また、お怪我をされたお客さまは確認されておりません。

2. これまでに判明した状況

はやぶさ・こまち21号は、上野～大宮間を走行中、自動的にブレーキが動作し、東京起点6k600m付近に停車しました。

同列車の運転士による点検により、はやぶさ号とこまち号の連結部が外れていることを確認しました。

(1) 発生時の走行速度

約60km/h

(2) 停車した後の車両間距離

約8メートル

(3) 当該車両の連結器の状況

破損等は認められませんでした。

(4) 併合時の状態

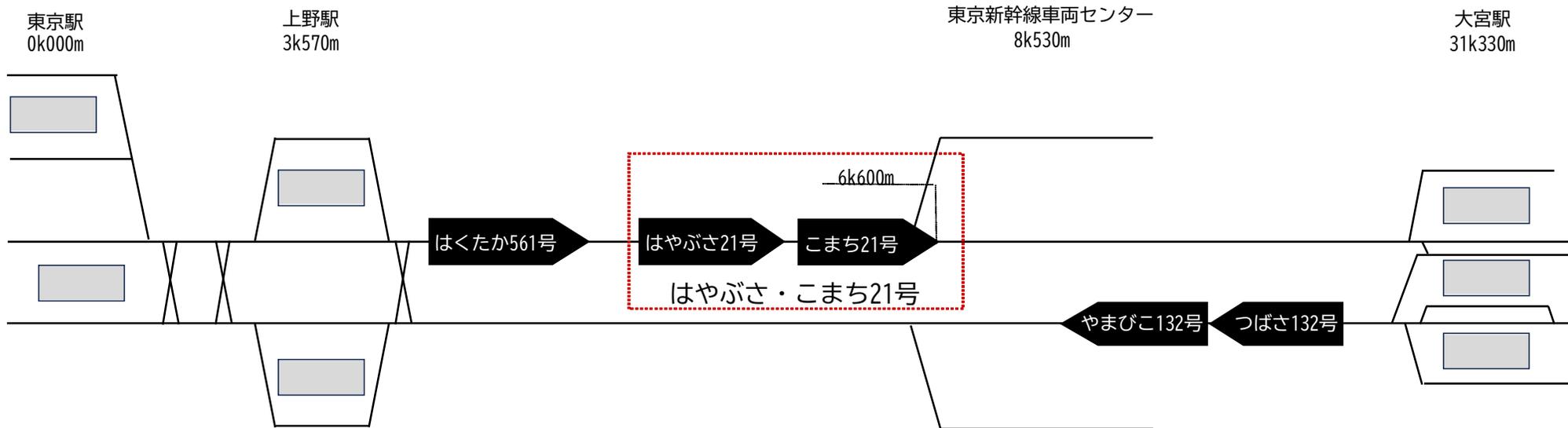
前列車のはやぶさ・こまち10号（新函館北斗発・秋田発 東京行）の盛岡駅での併合作業は通常どおり行われました。

3. 今後について

原因が判明し、必要な対策が完了するまで間、併結運転をすべて取りやめます。

原因究明を速やかかつ確実に実施するとともに、必要な対策をとってまいります。多くのお客さまに、ご迷惑とご心配をお掛けしておりますことを深くお詫び申し上げます。

車両停車位置略図



関係写真



停車状況 (西日暮里駅付近)



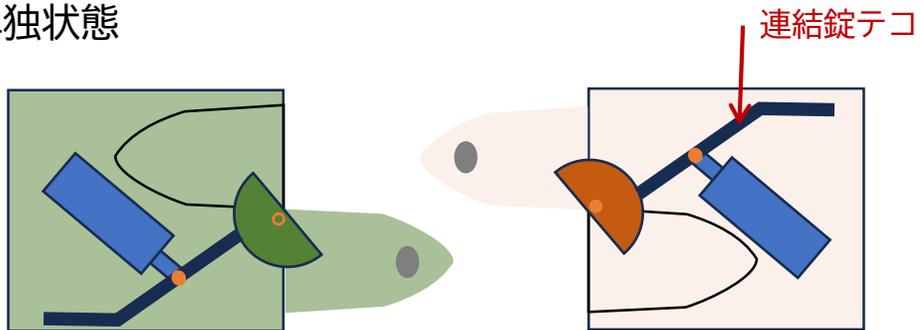
H5系 はやぶさ号10号車



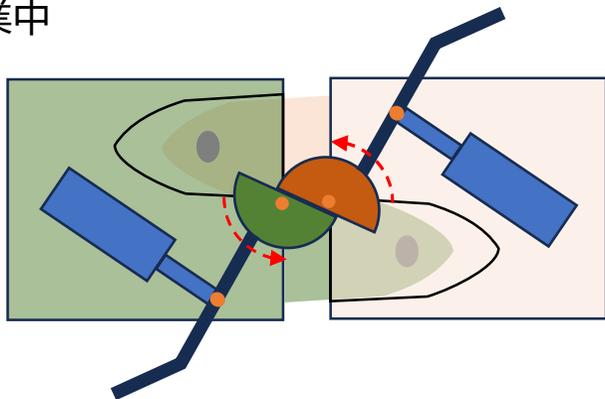
E6系 こまち号11号車

併合時

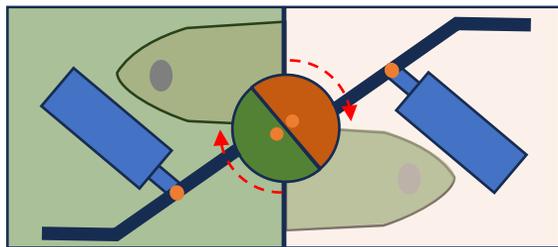
単独状態



併合作業中

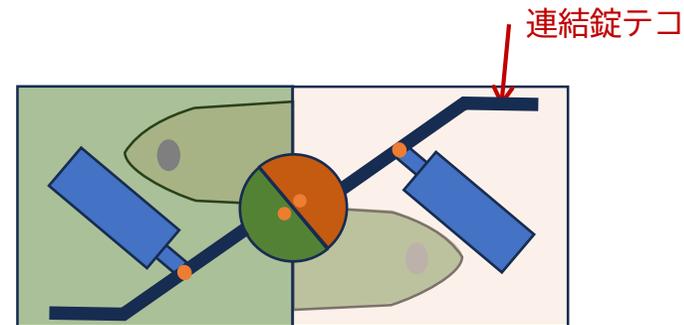


併結状態

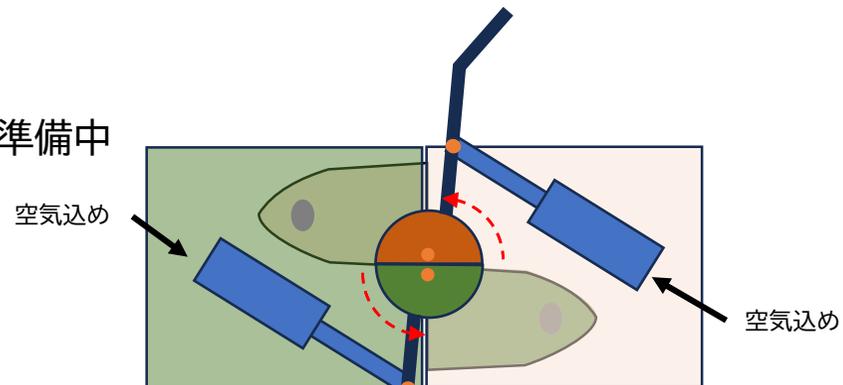


分割時

併結状態



分割準備中



単独状態

